

1 基本情報

予算中事業コード	10	予算小事業コード	05	事業名	たかつ区健康福祉まつり		
事業所管課	地域保健福祉課		担当者	小澤	連絡先	044-861-3303	
関係局(局区連携事業は記載)							

2 地域課題・事業の概要

事業によって解決すべき課題	少子・高齢社会を迎え、高齢者の健康維持や社会参加はますます大きな社会的課題になっており、明るい福祉社会の構築は、心身障害者の自立などと併せて多くの区民が地域ぐるみで考えることが求められている。
事業概要	●たかつ区健康福祉まつりの実施 高齢者や子ども、心身障害者の方々を含め、地域で暮らす多くの区民がふれあい、交流を深め、健康と福祉を共に考える場を提供し、地域福祉の推進と明るい福祉社会の構築を図る(福祉施設の自主製品の販売、健康相談等各種催し物等)。

3 予算・事業目標・取組の成果

予算額	1,097,000	決算額	808,444	不用額	288,556	
不用の理由	講師謝礼等が当初予算額を下回ったため。					
事業目標	高齢者や子ども、心身障害者の方々を含め、地域で暮らす多くの区民がふれあい、交流を深め、健康と福祉を共に考える場を提供し、地域福祉の推進と明るい福祉社会の構築を図る。					
事業目標達成に向けた今年度の具体的な取組	●たかつ区健康福祉まつりの実施 ①福祉施設自主製品の販売 ②参加団体の活動紹介 ③健康相談や体脂肪測定、育児相談などの各種催し物の展開					
事業目標を達成する上での課題等	●効果的な広報による来場者の拡大 ●展示内容の充実					
実績	●たかつ区健康福祉まつりの実施(委託先:たかつ区健康福祉まつり実行委員会) ・平成23年7月10日(日)10時から15時、てくのかわさきで開催。来場者数1,600人 ・今年度は前年度までの福祉施設自主製品の販売、参加団体の活動紹介と健康相談等の催し物の企画に加え、東日本大震災被災地復興支援として東北地方物産販売(利益は日赤に募金)及び募金を実施した(売上額¥325,900、利益額¥11,980、募金額¥18,084、合計募金額¥30,064)。					
協働の視点	区民から構成される実行委員会に本事業の実施を委託することにより、区民の豊かな知識や経験を「まつり」の企画・運営に取り込むとともに、参加団体が構成する企画部会で具体的な実施内容を協議することで「まつり」の内容の更なる充実を図った。					
環境配慮への視点	二酸化炭素排出量削減に向け、来場者にうちわを配布した。ゴミを出さない工夫としてゴミの持ち帰りを呼びかけた。					
取組の成果	実行委員会を中心に検討し、キラリたかつ大使の活用や東日本大震災被災地復興支援の企画等を取り入れたことや、メール配信サービスの活用等広報を充実させたことにより、来場者は前年度を上回り(前年度来場者数1,500人)、幅広く健康や福祉に関する意識啓発を行うことができた。また、参加団体も21団体から22団体に増え、各団体同士の繋がりがもたげることができた。さらに、小学生による合唱を企画に取り入れることにより、こどもの参加を促し、同時に親子連れの参加者も増加した。これらの取組により、高齢者、子どもと心身障害者を含め、多くの区民や関係団体が交流を深めることにより健康と福祉を共に考え、地域福祉の推進と明るい福祉社会の構築を図ることができた。				達成度	3

達成度 1:目標を大きく上回って達成 2:目標を上回って達成 3:目標をほぼ達成 4:目標を下回った 5:目標を大きく下回った

4 事業の方向性

取組の成果・予算編成等を踏まえ、翌年度以降の事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続 <input type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input type="checkbox"/> 事業を終了する
	「健康や福祉の意識の向上」と「健康福祉関連団体のネットワークの充実」のために、引き続き、参加団体が構成される企画部会で検討を重ねていき、健康や福祉の意識啓発や参加団体間の交流の更なる充実を目指す。 加えて、協働して実施することの理解を深め、参加団体と同じ目標を持って共につくりあげることを目指し、まつりをさらに充実させていく。さらに、今年度実施した東日本大震災被災地復興支援についても、引き続き実施する方向で検討していく。また、次代を担う若い世代の福祉への意識の向上を図るため、今後子どもの更なる参加拡大を目指す。

1 基本情報

予算中事業コード	10	予算小事業コード	10	事業名	高津区保健福祉センターだより発行事業		
事業所管課	地域保健福祉課			担当者	加藤	連絡先	044-861-3302
関係局(局区連携事業は記載)							

2 地域課題・事業の概要

事業によって解決すべき課題	区民が健やかで安心して暮らすためには、健康や福祉に関する有益な情報を積極的に発信する必要がある。
事業概要	●高津区保健福祉センターだよりの発行等 健康情報のトピックや各種福祉制度、保健福祉センターで実施を予定している相談事業や講演会の内容、日程、フロア案内図等を掲載した情報誌を発行する。 パンフレット・情報誌等を区内の公共機関や各種事業等にて配布するほか、区民課を通して転入者へ配布する。 高津区ホームページにも各種情報を掲載し、広く区民に伝わるようにする。

3 予算・事業目標・取組の成果

予算額	816,000	決算額	0	不用額	816,000
不用の理由	予算要求後に本事業の見直しが決まり、市政だより区版・ホームページへの掲載により代替することとしたため。				
事業目標	幅広く区民へ、保健福祉センターで実施している健康に関する事業や健康生活に役立つアドバイスを発信することにより、各種事業に参加すること等を通して、自らの健康づくり等に役立ててもらうこと。 福祉に関する情報や制度を周知することにより、相談や各種機関の利用がしやすくなるようにすること。				
事業目標達成に向けた今年度の具体的な取組	タイムリーな健康情報や健康に関する啓発記事等、有益な情報を発信することにより、区民一人ひとりの健康についての意識を高めていく。発行回数は年4回を予定しており、公共機関窓口での配布をはじめとして、保健福祉センターで行われる各種事業等での配布や高津区ホームページへ掲載することにより、幅広く区民に伝わるようにする。				
事業目標を達成する上での課題等	「市政だより」や各種制度案内等、他の情報発信媒体との内容の住み分けを整理すること。 発行回数が年4回では、タイムリーな情報発信ができず、ニュース性が少なくなってしまうこと。				
実績	予算要求後に本事業の見直しが決まり、市政だより区版・ホームページへの掲載により代替することとしたため、当事業は、実施しなかった。				
協働の視点					
環境配慮への視点					
取組の成果	予算要求後に本事業の見直しが決まり、市政だより区版・ホームページへの掲載により代替することとした。				達成度
					3

達成度 1:目標を大きく上回って達成 2:目標を上回って達成 3:目標をほぼ達成 4:目標を下回った 5:目標を大きく下回った

4 事業の方向性

取組の成果・予算編成等を踏まえ、翌年度以降の事業の方向性	<input type="checkbox"/> 見直し・改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続 <input type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を終了する
	高津区保健福祉センターだよりについては、次の理由により、発行せず、事業を終了する。 ・高津区保健福祉センターだよりは、イベント案内、制度案内、健康情報等の啓発の発信をしていたが、これらについては、今年度から、市政だよりで発信することで、本事業が担ってきた機能は継続することができたこと。 ・また、従来の年4回の発行では、タイムリーな情報発信はできなかったが、毎月発行される市政だよりを活用することで、効果的に情報が発信できたこと。 ・ホームページを活用することにより、よりタイムリーな情報の発信ができたこと。

平成23年度 高津区地域課題対応事業 評価書

1 基本情報

予算中事業コード	10	予算小事業コード	15	事業名	高津公園体操推進事業		
事業所管課	地域保健福祉課			担当者	高田	連絡先	044-861-3313
関係局(局区連携事業は記載)							

2 地域課題・事業の概要

事業によって解決すべき課題	高津区在住で介護保険の要支援・要介護認定を受けている高齢者は、平成13年2,036人から平成22年には5,156人(全高齢者に対する割合は15.88%)と急増している。そのため、社会的には介護保険給付費や医療費の増加、住民自身にとってはQOL(生活の質)の低下が大きな問題となっている。また、高齢者の1割が閉じこもりであり、要介護の発生危険度が高いとされている。高津区は転入者が多く、単身者も増えているため、近所づきあいが希薄になりがちである。
事業概要	「高津公園体操」は、寝たきりになる原因である、「生活習慣病」「転倒・骨折」予防のために作られた15分間の体操。運動の3大要素の「有酸素運動」「筋カトレーニング」「柔軟運動」が組み込まれている。軽快な音楽とテープの声に合わせて、運動が苦手な方を含め、若い方から高齢の方にも無理なく、気軽に行える。 ①普及啓発のための講演会等の実施②公園体操立ち上げのための研修会の実施③既に実施している区民へのフォロー④CD・カセットテープ・DVDの委託販売。ガイドマップ・のぼり旗作成・配布

3 予算・事業目標・取組の成果

予算額	1,011,000	決算額	757,203	不用額	253,797
不用の理由	当初の予定では、新たな公園体操を10箇所立ち上げる予定であったが、4箇所の立ち上げとなくなったため(講師謝礼)				
事業目標	「高津公園体操」に取り組む地域を増やすことで要介護者の増加を抑制することを目標とする。また、取り組むことで、「閉じこもり予防」「見守り活動」も含めた各地域のコミュニティの活性化を目指す。				
事業目標達成に向けた今年度の具体的な取組	①普及啓発のための講演会等の実施(健康福祉まつりでの普及啓発(23年7月10日)、講演会実施(23年8月5日)等)②公園体操立ち上げのための研修会の実施(2回1コース)③既に実施している区民へのフォロー(フォロー教室(24年1月28日)、リーダー研修(秋頃)④CD・カセットテープ・DVDの委託販売、ガイドマップ作成・配布				
事業目標を達成する上での課題等	コミュニティ活性化へ向けて、若い世代への働きかけが今後の課題。健康づくり事業やヘルスパートナー高津との連携等普及啓発の方法について検討すること。				
実績	【普及啓発】①健康福祉まつりでの普及啓発の実施(平成23年7月10日、晴れ、てくのかわさき)②講演会の実施(平成23年8月5日、区役所会議室、晴れ、38名の参加)③CD・DVD・カセットテープの委託販売(川崎市職員生協)を実施(2月末まででCD3個、DVD11個、カセット11個の販売)ガイドマップを委託にて作成(株式会社広報プレイス、3月末発行予定、5,000部)【立ち上げ支援】立ち上げの研修会を4つの地域で実施し3月までに新たに4ヶ所立ち上げた(向ヶ丘東公園、千年前田公園、久末大谷公園、梶ヶ谷第一公園)【既に活動している区民へのフォロー】①リーダー交流会の実施(平成23年12月14日、区役所会議室、晴れ、36名の参加)②フォロー教室の実施(平成24年1月26日、高津スポーツセンター、晴れ、59名の参加)				
協働の視点	ヘルスパートナー高津や区内の地域包括支援センターと協働して地域へ普及啓発を行っている。また、地域での研修会や実際の公園での高津公園体操の実施については、町会・自治会や老人会と協働して行っている。				
環境配慮への視点	公園体操実施前後に、使用する公園の清掃活動を実施している所も多い。また、参加者には水分補給のための水を持参してもらっており、ゴミは持ち帰ってもらうようにしている。				
取組の成果	新たな公園体操立ち上げの研修会を4箇所実施し、研修会修了後定例で(週1回)公園体操を実施できている。既に活動していた公園体操についても安定して活動を継続できている状況である。また、公園体操を通じて「体力がついた」「体調が良くなった」など、参加者の介護予防にも繋がっている。さらに、「顔見知りが増えた」「挨拶のできる関係ができた」といった声や、子ども連れでの参加、障害のある方の参加も少数ではあるが、コミュニティの活性化にも繋がっている。				達成度
					3

達成度 1:目標を大きく上回って達成 2:目標を上回って達成 3:目標をほぼ達成 4:目標を下回った 5:目標を大きく下回った

4 事業の方向性

取組の成果・予算編成等を踏まえ、翌年度以降の事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続 <input type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input type="checkbox"/> 事業を終了する
	【普及啓発】地域子育て支援センター等での普及啓発(子育て世代へ)を行った所、公園体操を「知らなかった」という声が多くあったため、次年度も引き続き子育て世代への普及啓発を行う。サービス課とも連携し、若い世代を参加へ繋げる工夫を行う。【立ち上げ研修】引き続き、地域での立ち上げ研修会を実施予定であるが、公園体操を実施していない地域(例えば下野毛など)へ特に焦点を絞り働きかけを行う。【既に活動している区民へのフォロー】リーダー向け研修会や、フォロー教室を今年度同様実施予定。

1 基本情報

予算中事業コード	10	予算小事業コード	20	事業名	高津区医療機関マップ発行事業		
事業所管課	地域保健福祉課			担当者	加地	連絡先	044-861-3304
関係局(局区連携事業は記載)							

2 地域課題・事業の概要

事業によって解決すべき課題	窓口等で区内医療施設の情報を求める要望が多いことから、高津区に転入してきた方が安心して暮らせるように、医療施設の情報発信を推進する必要がある。
事業概要	紙媒体による医療機関マップを作成し、窓口や転入者へ配布することで区民の利便性の向上を図る。

3 予算・事業目標・取組の成果

予算額	1,197,000	決算額	0	不用額	1,197,000
不用の理由	(株)ゼンリンが発行している情報誌「mi-ru-to」に同様の医療施設情報を掲載することとし、今年度は作成しなかったため。				
事業目標	医療機関に関する不安の解消や、転入者でかかりつけ医をもたない人などのために、身近において使用していただけるマップの作成を目指す。				
事業目標達成に向けた今年度の具体的な取組	医療機関マップの情報の更新や内容の再検討を行い増刷します。公共機関に設置したり、転入者に配布するなど広く周知します。高津区のホームページにも掲載する。				
事業目標を達成する上での課題等	医療機関マップ作成にあたって広く区民から意見や声を吸い上げていき、事業に反映させていくこと。				
実績	(株)ゼンリンと調整を行い、(株)ゼンリンが発行している情報誌「mi-ru-to」に同様の医療施設情報を掲載することとし、民間企業を活用したことで、マップの発行は行わなかった。				
協働の視点					
環境配慮への視点					
取組の成果	(株)ゼンリンと調整を行い、(株)ゼンリンが発行している情報誌「mi-ru-to」に同様の医療施設情報を掲載することとし、民間企業を活用した。				達成度
					3

達成度 1:目標を大きく上回って達成 2:目標を上回って達成 3:目標をほぼ達成 4:目標を下回った 5:目標を大きく下回った

4 事業の方向性

取組の成果・予算編成等を踏まえ、翌年度以降の事業の方向性	<input type="checkbox"/> 見直し・改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続 <input type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を終了する
	ゼンリンと協定を結び作成した地図情報マガジン「mi-ru-to」に区内医療機関の情報が掲載されるため、翌年度以降の事業を終了する。 今後は、同情報誌や市ホームページ「かわさきのお医者さん」で医療機関の情報を提供していく。